

レジャーに関する支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

5月16日は「旅の日」です。5月は大型連休もあり、各地に出かけられた方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は、レジャーに関する支出（以下、レジャー費）^(注)についてみてみましょう。

(注)レジャーに関する支出とは、「外食」、「鉄道運賃」、「有料道路料」、「フェリー代やロープウェイ代などの「他の交通」、「ガソリン」、「宿泊料」、「パック旅行費」、「入場・観覧・ゲーム代」の8品目の合計をさします。
「旅の日」・・・「日本旅のペンクラブ」が昭和63年に提唱。松尾芭蕉が「奥の細道」に旅立った日。

レジャーへの支出割合は上昇傾向

まず、レジャー費の支出金額と、消費支出に占めるレジャー費の割合の推移をみてみましょう。

1世帯当たり年間の支出金額は、平成9年の40万7千円をピークに15年まで減少傾向で推移していましたが、その後は増加傾向にあります。また、割合も15年以降上昇しており、18年は10.6%となっています（図1）。

連休に増える支出

次に、平成18年4月20日から5月15日までの日別のレジャー費の支出金額をみてみますと、週末及び連休での支出金額が高く、いずれも4～5月期のレジャー費の1日当たり平均支出金額（890円）を上回っており、特に5月3～5日は、約2倍の支出金額となっています（図2）。

(注)「パック旅行費」は通常旅行日ではなく事前に支払うため、日別のレジャー費には計上していません。

高齢者世帯で多いパック旅行への支出

最後に、世帯主の年齢階級別のパック旅行費の支出金額と、消費支出に占めるパック旅行費の割合をみてみましょう。

年齢が高くなるほど、支出金額、割合ともに高くなっています。特に、60歳以上の世帯では、支出金額が30歳未満の世帯の約3倍となっており、割合も最も高くなっています（図3）。

図1 レジャー費と消費支出に占めるレジャー費の割合の推移（昭和60年～平成18年）

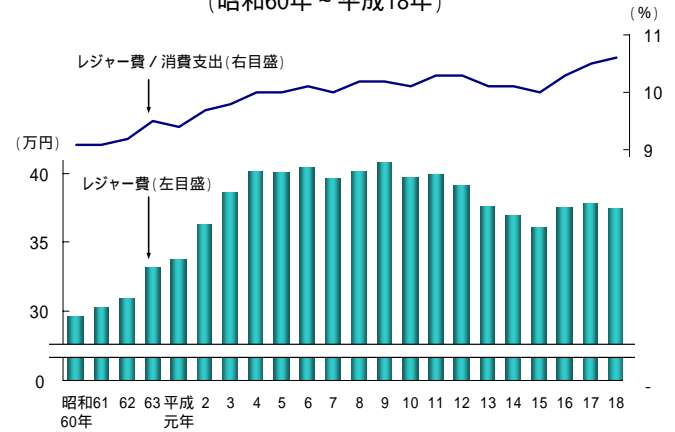


図2 レジャー費の日別支出金額（平成18年4月20日～5月15日）

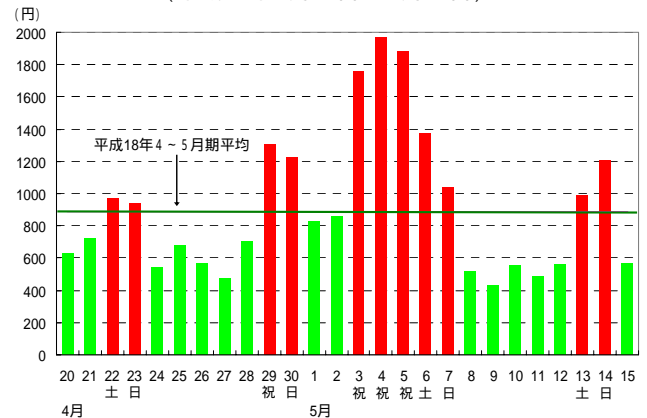


図3 世帯主の年齢階級別パック旅行費と消費支出に占めるパック旅行費の割合（平成18年）

